



【報道関係者各位】

2013年1月9日
鉄旅オブザイヤー実行委員会

鉄旅オブザイヤー開催記念 鉄道旅行に関する調査

日常生活も鉄旅！4人に3人は「通勤鉄旅予備軍」
実は感じていた「日常の鉄旅な瞬間」って？～なぜ鉄道？プロの鉄旅アイデアは？～
一緒に鉄旅したい人、第1位は関口知宏さん、吉永小百合さん

日本国内の優れた鉄道旅行を審査・表彰する「鉄旅オブザイヤー」開催（結果発表・授賞式は2012年1月23日11時～／場所：鉄道博物館）を記念して、鉄旅オブザイヤー実行委員会では、「鉄道の旅に関する調査」を実施しましたので、結果を以下にご報告致します。

【調査方法】インターネット調査 【調査対象】全国の20歳以上男女 1,196名／【3】【4】全国の20歳以上男女で「鉄道旅行がとてもしょくもしくは「好き」と回答した300名 【5】後述

※鉄旅オブザイヤーの詳細はこちら <http://www.tetsutabi-award.net/>

< 調査結果 概要 >

【1】日常生活も鉄旅！「乗り過ごして初上陸」13.1%、男性は「仕事で初上陸」46.5%

この1年で「人生で初めて降りた駅」の理由について、最も多いのは「旅行先として」「休日のレジャーやイベントで」。一方「乗り過ごして／間違えて」も約10人に1人以上が1年以内に経験。男性は仕事目的で4割以上が初めての駅へ。

【2】日常生活の中の鉄旅・通勤通学中、4人に3人が「ふと鉄旅に出かけたくなる」

通勤通学中の電車で、ふと「このまま鉄旅に出たくなる一瞬」があると答えた人は75%。もっとも感じるシチュエーションは「天気の良いとき」で53.8%。

【3】「“旅行あるある”『あー鉄道で行けばよかった！』と思う瞬間」・・・1位は車の渋滞

旅行好き300人の回答で最も多かったのは「車で渋滞にあったとき」。また「景色の綺麗な場所を通るとき」や「お酒を飲みたいとき」など、鉄道だからこそできる移動の楽しみ方を思う瞬間が多く寄せられた。

【4】一緒に鉄旅したい人、第1位は「関口知宏」さん、「吉永小百合」さん

『鉄旅オブザイヤー』にて審査委員長を務める『関口知宏』さんが第一位に。同率1位は昨年調査で50代第3位の『吉永小百合』さんがランクイン。

【5】旅行・鉄道のプロが「実はやってみたい」鉄旅・温泉や漫才など

旅行・鉄道に携わるプロの方（旅行代理店、鉄道会社、地方自治体の観光課、各地観光協会等 のいづれかに勤務されている方90名）へのアンケートを実施。「温泉に浸かって移動できる旅館のような大浴場のある列車の旅がしてみたい」など、「難しいけどやってみたい・・・」鉄旅へのアイデアが寄せられた。

本件に関するお問合せ

鉄旅オブザイヤー実行委員会 担当：眞鍋

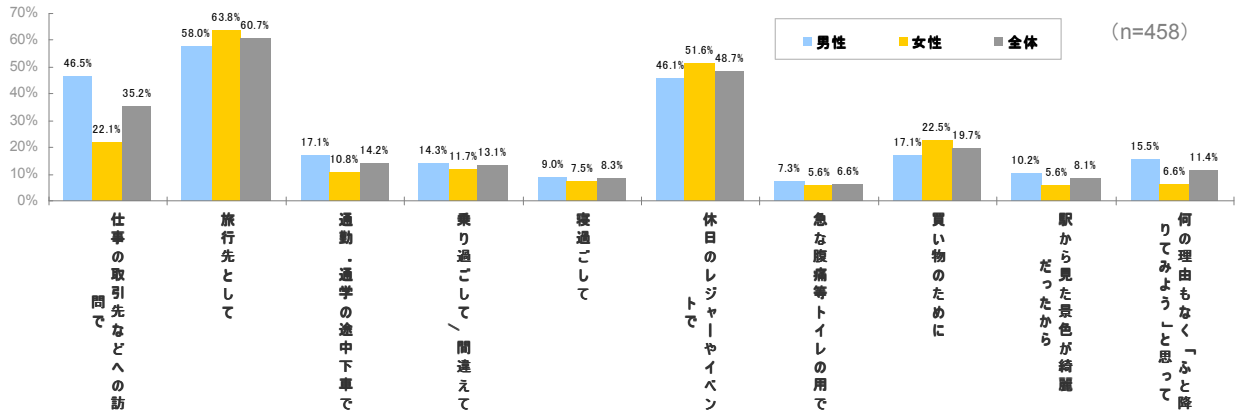
●TEL：080-5908-3122（眞鍋）／●Mail：tetsutabi@jtbcom.co.jp

※『鉄旅オブザイヤー』授賞式に関して：取材のお申し込みは1月18日（金）までお願い申し上げます。

【1】日常生活も鉄旅！「乗り過ごして初上陸」13.1%、男性は「仕事で初上陸」46.5%

Q. 以下の理由でこの1年で「人生で初めて降りた駅」はありますか。

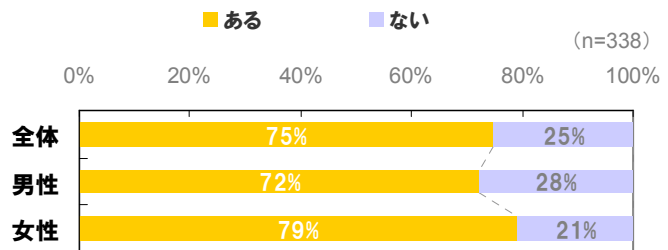
最も多いのは「旅行先として」この1年で新しい駅を開拓した方で全体で60.7%。また、男性58.0%に対し女性は63.8%、「休日のレジャーやイベントで」も男性46.1%に対し女性51.6%と、女性の旅行・レジャーに対する開拓機会の多さが伺える。「乗り過ごして／間違えて」も約10人に1人以上が1年以内に経験。



【2】通勤通学中、4人に3人が「ふと鉄旅に出かけたくなる」

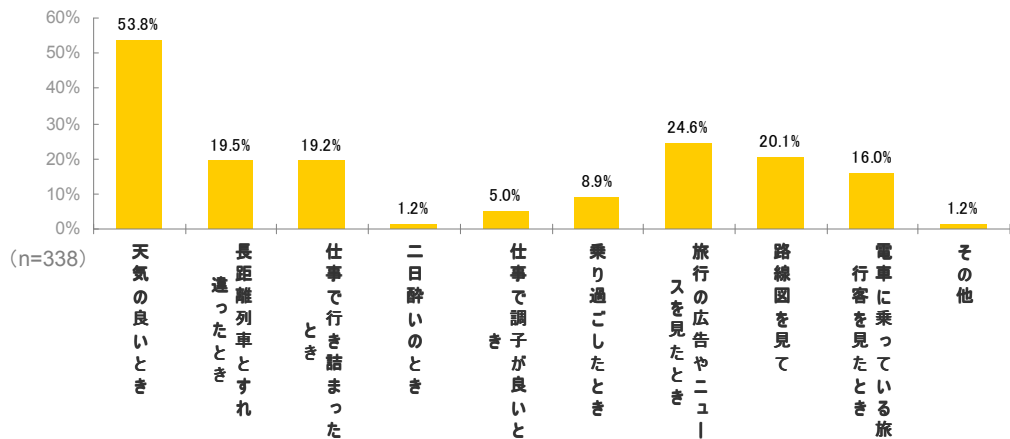
「通勤通学中の電車で、ふと『このまま鉄旅に出たくなる一瞬』がある」

約7割が「ある」と回答。女性に至っては8割近い方が「ふと出かけたくなる」経験有り。



その瞬間とは…第一位「天気の良いとき」

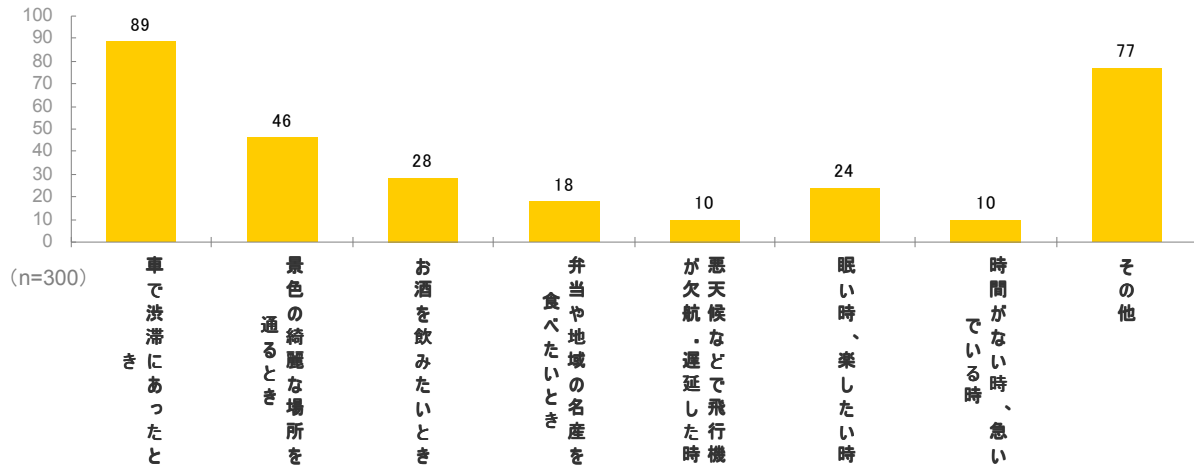
「天気の良いとき」がダントツ。続いて、「旅行の広告やニュースを見たとき」「路線図を見て」など、車内の掲示物にも鉄旅モチベーションを上げている要素が。



【3】「旅行あるある」『あー鉄道で行けばよかった!』と思う瞬間・・・1位は車の渋滞

Q. 「旅行あるある」を教えてください。「あー鉄道で行けば良かった!と思う瞬間」を教えてください。

旅行好き300人の回答で最も多かったのは「車で渋滞にあったとき」。また「景色の綺麗な場所を通るとき」や「お酒を飲みたいとき」など、鉄道だからこそできる移動の楽しみ方を思う瞬間が多く寄せられた。

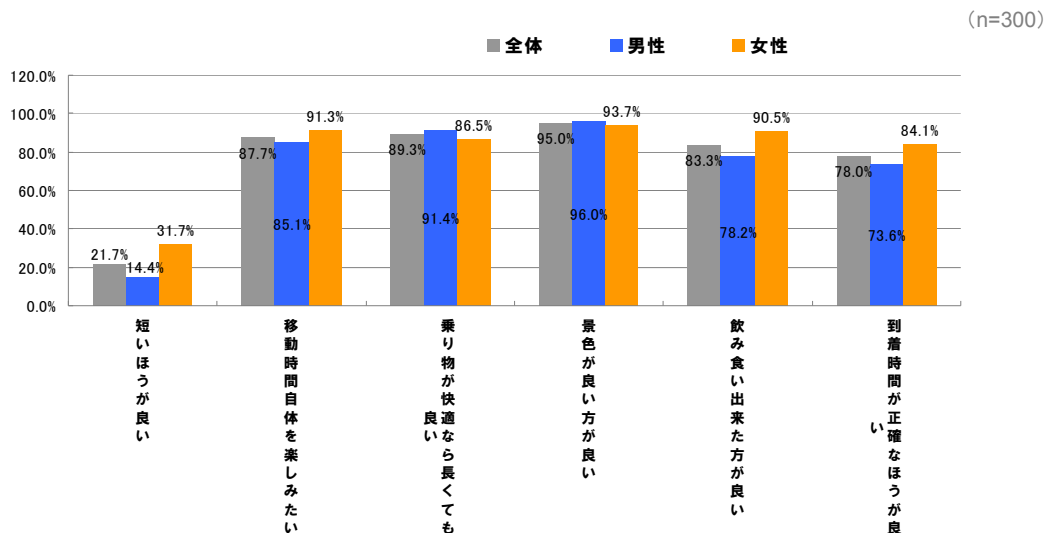


<自由回答 抜粋>

- ・ワインやお酒の試飲ができる場所にてあったとき。(60代 男性)
- ・のどかな自然の風景がたくさん楽しめる場所には、車窓からの眺めを楽しみたかったなと思います。(30代 女性)
- ・高速バスで寝られなかったとき (20代 男性)
- ・山と川の間を走る列車や運転では通れないような秘境を通るとき (40代 女性)
- ・車で出かけた場合、駐車場に困ったり、運転する人に合わせてアルコールを控えたりする事が多く、鉄道にすればよかったと思ったこと何度もあります。(70代 女性)
- ・道が渋滞している時に、隣で電車が走って通過したとき、あーといいなと思う時がたまに有ります。(50代 男性)

Q. 国内旅行についてお答えください。旅に出たとき、(乗り物に関わらず)移動時間の考え方を教えてください。

移動時間については、「短さ」よりも「移動時間をいかに楽しむか」「快適に過ごすか」が重視されている結果に。特に女性については「移動時間自体を楽しみたい」91.3%、「飲み食い出来た方が良い」90.3%と高く、一方「短い方が良い」「時間が正確なほうが良い」といった項目も平均より高く、効率と楽しみの両方を重視。



【4】一緒に鉄旅したい人 … 「関口知宏さん」「吉永小百合さん」がランクイン

(n=300)

Q. 一緒に鉄道旅行してみたい有名人・芸能人は？

『鉄旅オブザイヤー』にて審査委員長を務める『関口知宏』さんが第1位に。同率1位は昨年の調査で50代第3位の『吉永小百合』さんがランクイン。

順位	芸能人
1位	関口知宏さん
	吉永小百合さん
2位	綾瀬はるかさん
	向井理さん
3位	明石家さんまさん
	福山雅治さん

《参考》昨年結果

20代が選ぶ！一緒に鉄旅したい人
(男女総合)

1位	向井理さん
2位	タモリさん
3位	ベッキーさん
4位	新垣結衣さん

(N=100)

50代が選ぶ！一緒に鉄旅したい人
(男女総合)

1位	明石家さんまさん
2位	福山雅治さん
3位	吉永小百合さん
4位	久本雅美さん

(N=100)

【5】プロが「実はやってみたい」鉄旅！もしかしたら次の鉄旅のアイデアに？！

この度、鉄旅オブザイヤー実行委員会では、旅行・鉄道に携わるプロの方(旅行代理店、鉄道会社、地方自治体の観光課、各地観光協会等 のいずれかに勤務されている方90名)へのアンケート調査も致しました。

できそうでできない？鉄旅の楽しみ方

Q. ご自身で「鉄旅」される際、駅や車内で「実はやってみたいこと」があれば教えてください。

温泉、お風呂 入ってみたい	「カシオペアやななつ星のような豪華列車がありますが、温泉に浸かって移動できる旅館のような大浴場のある列車の旅がしてみたい。」(旅行代理店勤務) 「とても難しいと思いますが、列車の中に露天風呂があって、風呂に浸かりながら景色が見られたら…足湯くらいなら出来るかも…。」(旅行代理店勤務)
車掌体験 がしてみたい	「白スーツに赤腕章(専務車掌)での車掌体験」(旅行代理店勤務) 「車内アナウンスをやってみたい」(旅行代理店勤務)
漫才、お笑いライブ がしてみたい	「貸し切り列車内での落語、漫才など」(旅行代理店勤務) 「漫才師と乗る鉄道の旅。ザ漫才のように 若手漫才師を数名のせて、お題は【鉄道】車内放送や、車内テレビにて放送し、その場で全乗客が審査員で集計する。鉄道漫才NO1は誰の手に！」(旅行代理店勤務)

東京駅復元記念！プロもおすすめ、駅舎を楽しむ鉄旅ならここ！

Q. 東京駅復元が話題ですが、形がカワイイ、またはカッコいいと思う駅舎があれば教えてください。

JR九州 鹿児島本線 「門司港」駅	「存在感の大きさといえば、『門司港』駅にかなう駅はないと思います。駅だけでなく駅前も歴史保存地区ですし、九州鉄道記念館もあります。」(旅行代理店勤務) 「始発、終着のホームがいいですね。新しい駅は機能的な駅ビルになる寂しさがありますね。」(旅行代理店勤務)
JR東日本五能線 「木造」駅	「ハニワを模したかわいい駅。」(旅行代理店勤務) 「遺構発見以降駅舎が巨大な土偶そのままの駅舎になっている。」(各地観光協会等勤務)
JR日光線 「日光」駅	「最近では、JR・私鉄でも駅舎のリニューアルが盛んに行われていますが、JR日光線の日光駅を推薦します。是と言った変わり映えはしない駅舎ですが、国際観光地の駅舎らしく時代を感じさせる風情が有ります。」(旅行代理店勤務)

旅行代理店、鉄道会社、地方自治体の観光課、各地観光協会等 のいずれかに勤務されている方90名への自記式またはWEBアンケートにて票数の多かった内容とコメントを抜粋。

< 調査結果 詳細 >

その他、本調査結果の詳細を「鉄旅オブザイヤー」HPにて公開しております。

<http://www.tetsutabi-award.net/>

..... < 調査概要 >

■調査手法 : インターネット調査

■調査対象 : 全国20代以上歳男女

■サンプル数: 1,196名 / 20代241名、30代238名、40代240名、50代239名、60代173名、70代63名、80代2名

※【3】【4】は、20代以上男女で「鉄道旅行がとても好き」もしくは「好き」と回答した300名(男性174名、女性126名)

※【5】は、旅行代理店、鉄道会社、地方自治体の観光課、各地観光協会等 のいずれかに勤務されている方90名

■調査期間 : 2012年12月19日～20日

※本リリースの内容や調査結果をご利用いただく際は、
『「鉄旅オブザイヤー実行委員会」調べ』とご明記下さい。



鉄旅オブザイヤー 概要

「鉄旅 オブザイヤー」<http://www.tetsutabi-award.net/>

● 表彰対象

2011年11月～2012年10月までに催行された日本国内を目的地とする募集型企画旅行および受注型企画旅行。※鉄道旅行の魅力がツアーの中心にあり、企画性、オリジナリティが高いものとする。

● 表彰

グランプリ 1作品、準グランプリ 1作品、審査員特別賞 3作品 計5作品

● 審査

・鉄旅オブザイヤー実行委員会

・審査員 ※敬称略・五十音順

委員長	関口 知宏	俳優、旅人
委員	芦原 伸	「旅と鉄道」編集長、日本旅行作家協会常任理事
委員	井門 隆夫	(株)井門観光研究所、関西国際大学人間科学部経営学科准教授
委員	榎本 聖之	鉄道模型バー銀座パノラマ渋谷店オーナー
委員	オオゼキタク	シンガーソングライター
委員	栗原 景	フォトライター
委員	田中 いちえ	鉄道好きモデル
委員	鉄旅ガールズ	鉄旅好き女子
委員	鉄道チャンネル	プロデューサー吉川正洋(ダーリンハニー)「鉄音アワーTV」出演、南田裕介(ホリプロ)
委員	豊岡 真澄	元祖鉄道アイドル、ママ鉄代表
委員	矢口 正子	月刊「旅の手帖」編集長
委員	矢野 直美	旅をしながら「撮って書く」フォトライター

● 組織

主催：鉄旅オブザイヤー実行委員会(委員長 田川博己)

■後援：北海道旅客鉄道株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、東海旅客鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、四国旅客鉄道株式会社、九州旅客鉄道株式会社、一般社団法人日本民営鉄道協会、社団法人日本観光振興協会、一般社団法人日本旅行業協会
協力：交通新聞社、旅行メディア各社(予定)

● 発表

審査結果発表・授賞式は、2012年1月23日 11時～ 会場：鉄道博物館(さいたま市大宮区)

本件に関するお問合せ

鉄旅オブザイヤー実行委員会 担当：眞鍋

●TEL：080-5908-3122(眞鍋) / ●Mail：tetsutabi@jtbcom.co.jp

※「鉄旅オブザイヤー」授賞式に関して：取材のお申し込みは1月18日(金)までお願い申し上げます。